

図書館員のための COUNTER 実務指針 第5版 フレンドリー・ガイド

COUNTER Code of Practice Release 5 の基本を
図書館員のために分かりやすく解説

Tasha Mellins-Cohen

(COUNTERの許諾を得てWileyが日本語訳)

WILEY

COUNTER

1. 目次

2. はじめに	3	6. データベースレポート	13
2.1 COUNTERとは	3	6.1 DRとはどのようなレポート?	13
2.2 COUNTERレポートは誰が使うのか	3	7. タイトルマスターレポート	15
2.3 出版社がCOUNTERに準拠するには	4	7.1 TRとはどのようなレポート?	16
2.4 COUNTERの財務基盤と組織	4	8. アイテムマスターレポート	18
3. COUNTERのメトリック (指標)	5	8.1 IRとはどんなレポート?	18
3.1 Usage (利用)	5	9. 第5版と第4版の比較	19
3.2 Access Denials (アクセス拒否)	7	9.1 廃止されたレポート	20
3.3 Searches (検索)	8	10. まとめ	21
3.4 属性・要素ほか (少々) 技術的な事項 ..	9	10.1 プラットフォームについて	21
4. COUNTERのマスターレポートと標準ビュー .	10	10.2 購読機関について	21
4.1 レポートの見出し項目	11	10.3 シナリオ: Susanさんの例	21
5. プラットフォームレポート	12	10.4 要約	22

2.はじめに

このガイドはCOUNTER Code of Practice Release 5（実務指針第5版）について、図書館員やその他の利用者に向けて分かりやすく説明するものです。出版会社やベンダー向けのThe Friendly Guide to Release 5 for Providersと対をなします。

COUNTER実務指針第5版は、利用統計レポートへのニーズが変化する中でシンプルさが求められることにも配慮して策定されています。その目的は、コンテンツ制作会社が整合性を保てるように、また、図書館員が信頼性と一貫性をもった比較可能な統計を利用できるようにするためです。詳しくは、完全版の Code of Practice Release 5 をご覧下さい。

2.1 COUNTERとは

COUNTERは、Counting Online Usage of NeTworked Electronic Resourcesの頭文字を取った組織名です。ウェブサイトはこちらです。<https://www.projectcounter.org/>

COUNTERは、最新の情報環境において、最初期に設立された標準化組織のひとつです。出版社と図書館員が協力し、電子リソースの利用をカウントするための基準を策定し維持することに貢献しています。また、大手出版社とベンダーのほとんどが、その顧客である世界中の図書館にCOUNTERを利用した統計を提供することにより、COUNTERの定める基準に準拠するよう保証しています。

COUNTERは実務指針を公開しています。これは電子リソースの利用をカウントするための基準です。そして、COUNTERに準拠しているベンダーと出版社の登録状況も公開しています。このフレンドリーガイドで取り上げている実務指針の第5版は、継続的な保守の対象となっています。版の変更に伴い、このガイドは更新されます。

2.2 COUNTERレポートは誰が使うのか

COUNTERの基準は、本来図書館員をはじめ、出版社のコンテンツを購読する人々にサービスを提供するために開発されました。図書館員が異なる出版社のコンテンツの利用状況を簡単に比較し、その情報を活用して1ダウンロードあたりの購読費用を計算できるようにすることが当初の目的でした。当初、COUNTERレポートを出版社がその顧客層での利用状況を測定するために使用することは想定されていませんでしたが、次第にその用途で利用されることが多くなっています。

COUNTERレポートは世界中の大学図書館で、以下の用途で活用されています。

- 利用状況とアクセス拒否のデータに基づき、契約更新や新たな購入・購読の判断のための情報を提供する

- 図書館とそのリソースの価値について所属教員に情報を与える
- 利用者の行動を理解し、ユーザーエクスペリエンスを改善する

多くの大手ベンダーと出版社も、以下のようにCOUNTERレポートを使用しています。

- 信頼性と一貫性のある利用統計データを顧客に提供する
- アクセス拒否に関するCOUNTERデータを活用して、製品の販売機会を見つける
- 編集者や著者に出版物の利用状況を伝達する

2.3 出版社がCOUNTERに準拠するには

出版社とベンダーがCOUNTERに準拠するには、COUNTER準拠宣言書に署名してから6か月以内に、自社のCOUNTERレポートに対する独立監査を受け、それ以降は、毎年監査を受ける必要があります。非常に小規模な出版社には、隔年の監査が認められることがあります。監査に合格した出版社とベンダーはCOUNTERウェブサイトの一覧に掲載され、COUNTER準拠を示す日付つきロゴマークが発行されます。

2.4 COUNTERの財務基盤と組織

COUNTERは非営利の会員組織で、会費とスポンサー収入により資金を調達しています。

出版社、ベンダー、図書館員らが、会員としてCOUNTERを牽引しています。理事会は財務面を監督し、運営を監視する執行委員会を任命します。執行委員会の配下にあるプロジェクトディレクターは、COUNTERの日常的な管理運営に当たります。出版社、中間業者と図書館員のコミュニティはすべて理事会と執行委員会に代表を置いており、また、技術諮問委員会にも代表を置いています。

3.COUNTERのメトリック (指標)

この項では、第5版に存在するすべてのメトリックの種類を特定し説明します。また、第5版に関わる新しい属性も簡単にまとめます。これらの属性によって柔軟性がもたらされ、特別なレポートを作成する必要がなくなります。

3.1 Usage (利用)

第5版には利用に関するメトリックが複数あり、InvestigationとRequestに分類されます。Investigationは、ユーザーがコンテンツアイテムまたはタイトルに関連して何らかの操作を行った場合に記録されます。一方Requestは、特に完なコンテンツアイテムを表示またはダウンロードした場合に関するものです。(図1参照)

Investigation

- Total_Item_Investigations :
コンテンツアイテムまたは
コンテンツについての情報が
アクセスされた総回数
- Unique_Item_Investigations :
ユーザーがInvestigationを
行ったユニークな(同一ユー
ザーの1セッション内で重複の
ない)コンテンツアイテム
(章など)の数
- Unique_Title_Investigations :
ユーザーがInvestigationを
行ったユニークな書籍タイ
トルの数

Request

- Total_Item_Requests : コンテンツ
アイテムのフルテキスト(全文)
がダウンロードまたは表示された
総回数
- Unique_Item_Requests : ユーザー
がRequestしたユニークなコンテ
ンツアイテム(章など)の数
- Unique_Title_Requests : ユーザー
がRequestしたユニークな書籍タイ
トルの数

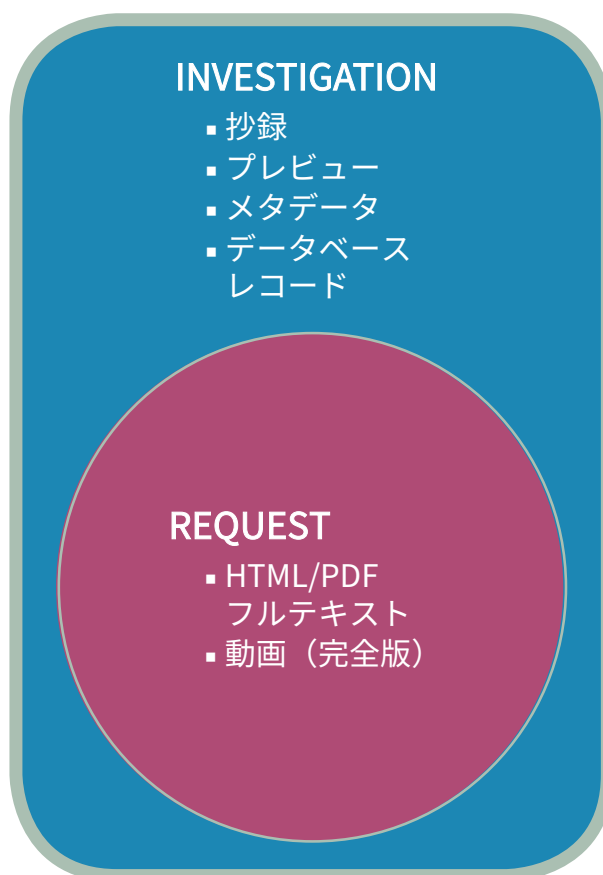


図1: InvestigationとRequestの関係

シナリオ

Camford大学は2015年にジャーナル2誌を購読し、X誌を2万5000ポンド、Y誌を1万ポンドで契約します。年末になると、Camfordの図書館員であるBarbaraさんはCOUNTER第5版のTR_J1レポートを実行し、各誌のフルテキストの利用状況（OA論文を除く）を確認します。X誌のUnique_Item_Requestsが6万であるのに対し、Y誌は200だけです。よって、Barbaraさんは、X誌の方が高価ですが、ダウンロード毎のコストがより優れていることを上司に報告します。

これは、次の計算によります。

- X誌の1 Unique_Item_Requestあたり費用 $\text{£}25,000 / 60,000 = \text{£}0.42$
- Y誌の1 Unique_Item_Requestあたり費用 $\text{£}10,000 / 200 = \text{£}50$

Camfordが両誌のどちらかを契約中止する必要があるれば、Y誌を中止すべきです。

シナリオ

Susanさんは出版社プラットフォームAlphaで抗生物質の歴史を調べています。そして、検索結果一覧から、論文の抄録を3点と、動画1点を選択します。この4つのアイテムはそれぞれ別物ですが、そのうち2点は同一のジャーナルの論文です。この場合のカウントは次のようになります。

- Total_Investigations: 4
- Unique_Item_Investigations: 4
- Unique_Title_Investigations: 0
- Total_Requests: 0
- Unique_Item_Requests: 0
- Unique_Title_Requests: 0

抄録を読んだ後、Susanさんは論文のうち2点のPDFをダウンロードします。それらは同じジャーナルの論文です。この場合、カウントは次のように変わります。

- Total_Investigations: 6
- Unique_Item_Investigations: 4
- Unique_Title_Investigations: 0
- Total_Requests: 2
- Unique_Item_Requests: 2
- Unique_Title_Requests: 0
- Barbaraさんにとっての1ダウンロードあたり費用の観点では、Unique_Item_Requestsに2がカウントされたことが重要です。

3.2 AccessDenials (アクセス拒否)

アクセス拒否は、「Turnaway」とも呼ばれます。第5版では、アクセス拒否のメトリックを2種類記録しています。

- No_License: 機関がコンテンツのライセンスを持っていないために、利用者がユニークなコンテンツアイテムにアクセスできないときにカウントされます。
- Limit_Exceeded: 機関の契約上の同時ユーザー数の上限を超過したことにより、ユニークなコンテンツアイテムにアクセスできない場合にカウントされます。

No_License と Limit_Exceeded は、利用者があるアイテムにInvestigationを行い成功したものの、Requestを完了できなかった場合に適用されます。

シナリオ

Susanさんは出版社プラットフォームAlphaで抗生物質の歴史を調べています。そして、検索結果一覧から、論文の抄録を3点と、動画を2点選択します。Susanさんの機関はビデオデータベースを購読していないため、アクセス拒否が発生しました。この場合のカウントは次のようになります。

- Total_Item_Investigations: 5
- Unique_Item_Investigations: 5
- No_License: 2
- Limit_Exceeded: 0

5分後、Susanさんは選んだ動画の1本にもう一度アクセスを試みます。この場合のカウントは次のようになります。

- Total_Item_Investigations: 6
- Unique_Item_Investigations: 5
- No_License: 3
- Limit_Exceeded: 0

No_Licenseの数が多い場合、Barbaraさんはビデオデータベースの購入費用を検討すべきかもしれません。

シナリオ

Susanさんは、出版社プラットフォームAlphaで抗生物質の歴史を調べています。そして、検索結果一覧から、論文の抄録3点と、動画を2点選択します。Susanさんの機関は、ビデオデータベースへの同時アクセスを制限した購読契約を結んでいて、今回はSusanさんが利用することでこの上限を超過しました。この場合のカウントは次のようになります。

- Total_Item_Investigations: 5

- Unique_Item_Investigations: 5
- No_License: 0
- Limit_Exceeded: 2

Limit_Exceeded の数が多い場合、Barbaraさんはビデオデータベースの同時アクセス数の上限を引き上げる費用を検討すべきかもしれません。

3.3 Searches (検索)

第5版には、検索に関するメトリックが4種類あります。

- Searches_Regular: 利用者がデータベースを選択肢から自発的に選ぶか、検索できるデータベースが一つしかない場合に、利用者がデータベースを検索した回数。
- Searches_Automated: 利用者がデータベースを選択肢から自発的に選ぶことなく、データベースを検索した回数。つまりSearches_Automatedは、プラットフォームが複数のデータベースにわたる横断検索をデフォルトで提供し、利用者があえてデータベース群の一部に限定して検索を行わない場合にカウントされます。
- Searches_Platform: 検索に関与したデータベースの数にかかわらず、ユーザーがデータベースを検索した回数。
- Searches_Federated: APIによりリモートで実行された検索の回数。

シナリオ

Susanさんは出版社プラットフォームAlphaで抗生物質の歴史を調べています。Susanさんは、「history AND antibiotics」を検索しました。この場合のカウントは次のようになります。

- Searches_Regular: 1
- Searches_Automated: 0
- Searches_Platform: 1
- Searches_Federated: 0

このようなデータベースでは、1利用当たり費用の計算は、全文ダウンロード数よりも検索数に大きく依存することがあります。それは、その図書館の方針に左右されます。

シナリオ

Susanさんは複数のデータベースをもつ出版社プラットフォームAlphaで抗生物質の歴史を調べています。Susanさんは、「history AND antibiotics」を検索しました。この場合のカウントは次のようになります。

- Searches_Regular: 0
- Searches_Automated: 1
- Searches_Platform: 1
- Searches_Federated: 0

次にSusanさんは「医学の歴史」データベースを選択し、検索を再度実行します。この場合のカウントは次のようになります。

- Searches_Regular: 1
- Searches_Automated: 1
- Searches_Platform: 2
- Searches_Federated: 0

別のセッションで、SusanさんはAPIを使って出版社プラットフォームAlphaを検索します。この操作のカウントは次のようになります。

- Searches_Regular: 0
- Searches_Automated: 0
- Searches_Platform: 0
- Searches_Federated: 1

3.4 属性・要素ほか（少々）技術的な事項

COUNTER実務指針第5版では、従来からあったメトリックに、一連の属性と要素が追加されました。これらは、より細かい情報を整理して提供するために役立ちます。また、COUNTERのチームが実務指針を保守し、修正するのもにも有用なものです。

- Data_Type: タイトルレベルでコンテンツを分類するために使います。（Journal, Book, Databaseなど）
- Section_Type: Data_Types よりもさらに細かい単位でコンテンツが提供される場合に適用します。（Article, Chapterなど）
- Access_Type: コンテンツがオープンアクセスか否かを示すのに使います。
- Access_Method: ホストがコンテンツのTDM（テキスト&データマイニング）に対応している場合に適用され、他の操作とTDM操作を区別することができます。
- YOP: Year of Publication（出版年）を意味し、Version of Record（論文の正式版）の出版年を西暦4桁の数字で示します。

属性と要素について、詳しくは実務指針の完全版をご参照下さい。

4.COUNTERの マスターレポートと標準ビュー

COUNTER実務指針第5版は、さまざまな業務に幅広く対応する4つのマスターレポートを定めています。

Platform Master Report

Database Master Report

Title Master Report

Item Master Report

レポートを使いやすくするため、各マスターレポートには1つまたは複数のサマリーがあります。サマリーは標準ビューとよばれ、利用、アクセス拒否などの特定の操作や事象をまとめたものです。マスターレポートにフィルターを適用して、標準ビュー（または、必要に応じてのカスタムビュー）を表示できます。

一方、標準ビューは、マスターレポートの情報の一部のみを表示するもので、標準ビューにフィルターと逆の操作を施して、その親となるマスターレポートを取得することはできません。

以下の例に示すように、マスターレポートにはここまでに説明したCOUNTERのすべてのメトリックが含まれ、さまざまな属性による追加情報とともに Investigation、Request、アクセス拒否、検索を網羅しています。

重要なポイント

出版社またはベンダーが提供する一連のマスターレポートは、そのプラットフォームに依存します。

マスターレポートはすべて、特定の属性によってフィルターできます。よく使われるフィルターは YOP、Data_Type、Access_Type、Access_Methodと Metric_Type です。

操作を月別に示した部分を除去し、報告期間全体の操作の総計だけを表示することもできます。

いずれも、詳しくは実務指針の完全版をご参照下さい。

4.1 レポートの見出し項目

第5版の表形式レポートの見出しは次のような共通の形式になっています。

項目名	値
Report_Name	レポート名
Report_ID	レポートID
Release	5
Institution_Name	レポートの利用統計に該当する機関名
Institution_ID	機関のID
Metric_Types	レポートに表示されているメトリックの種類のリ スト（セミコロンとスペースで区切り）
Report_Filters	レポートに適用されたフィルターの一覧（セミコ ロンとスペースで区切り）
Report_Attributes	レポートに適用された属性の一覧（セミコロンと スペースで区切り）
Exceptions	レポート生成時に発生した例外事項
Reporting_Period	レポートの対象期間
Created	レポート作成の実行日
Created_By	レポートを作成した組織またはシステムの名称
<空白行>	

5. プラットフォームレポート

すべての出版社とベンダーは、Platform Master Report (PR) を提供しなくてはなりません。PRにはプラットフォーム全体のすべてのメトリックに関わる活動を示します。PRには標準ビューが1つあります。PRはどのようなもののでしょうか？

ID	レポート名	内容
PR_P1	Platform Usage	あらかじめ設定されているPRの標準ビューであり、Total_Item_Requestsと、Unique_Item_Requestsそしてプラットフォームでの検索数を表示します。

PRは5項目（プラットフォーム、Data_Type、Access_Method、Metric_TypeとReporting_Period_Total）からなる比較的コンパクトなレポートで、それに月別の明細が加わります。すべての種類のメトリックを表示する必要がありますが、このガイドではその一部のみを以下の例で紹介します。

例：出版社プラットフォームAlpha (PPα) について、2017年1月1日～6月30日のSample大学のPRを生成しました。この例では、Sample大学の利用者はさまざまなジャーナルと書籍に対してInvestigationを行っていますが、全文へのアクセスはありません。レポートには合計で15のInvestigationが記録され、そのうちユニークアイテムは11です。Requestはありません。

また、レポートの期間において、利用者のデータベースアクセスが3回拒否されています。 <http://bit.ly/2EYza4n>

Platform	Data_Type	Access_Type	Access_Method	Metric_Type	Reporting_Period_Total
PPα	Journal	Controlled	Regular	Total_Item_Investigations	10
PPα	Journal	Controlled	Regular	Unique_Item_Investigations	6
PPα	Journal	Controlled	Regular	Unique_Title_Investigations	5
PPα	Book	Controlled	Regular	Total_Item_Investigations	5
PPα	Book	Controlled	Regular	Unique_Item_Investigations	5
PPα	Book	Controlled	Regular	Unique_Title_Investigations	3
PPα	Database	Controlled	Regular	No_License	3

6. データベースレポート

Database Master Report (DR) は、データベース全体またはデータベースのように動作するコンテンツの固定的なコレクションのすべてのメトリックに関わる活動を示します。必要に応じて、DRにフィルターを適用することができます。DRには2つの標準ビューがあります。

ID	レポート名	内容
DR_D1	Database Search and Item Usage	アイテムのInvestigationとRequestの総数と検索の総数を示す、DRの既定の標準ビュー
DR_D2	Database Access Denied	同時アクセス数の上限の超過または機関がライセンスを持っていないことによるアクセス拒否を示す、DRの既定の標準ビュー

6.1 DRとはどのようなレポート？

DRはPRほどコンパクトではありません。項目は9つあり、それに月別の明細が加わります。PRの項目（プラットフォーム、Data_Type、Access_Method、Metric_TypeとReporting_Period_Total）に加え、DRにはプラットフォームにあるデータベース名と出版社の詳細が表示されます。

PRと同様に、すべての種類のメトリックを表示する必要がありますが、このガイドではその一部のみを以下の例で紹介します。

例：出版社プラットフォームAlpha (PPα) のマルチメディアデータベースについて、2017年1月1日～6月30日のSample大学のDRを生成しました。この例では、Sample大学の利用者はデータベースで8件のアイテムを調べ、そのうちの3つのアイテムについてレコード全文へアクセスしています。また、レポートの対象期間中、データベース検索も1件記録されています。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fsF_JCuOelUs9s_cvu7x_Yn8FNsi5xK0CR3bu2X_dVI/edit#gid=306697142

<http://bit.ly/2mTfU05>

Database	Publisher	Publisher_ID	Platform	Proprietary_ID	Data_Type	YOP	Access_Type	Access_Method	Metric_Type	Reporting_Period_Total
Multimedia	Gamma	1234_gam	PPα	ahgoiuaryg	Database	2016	Controlled	Regular	Total_Item_Investigations	8
Multimedia	Gamma	1234_gam	PPα	ahgoiuaryg	Database	2016	Controlled	Regular	Unique_Item_Investigations	8
Multimedia	Gamma	1234_gam	PPα	ahgoiuaryg	Database	2016	Controlled	Regular	Unique_Title_Investigations	1
Multimedia	Gamma	1234_gam	PPα	ahgoiuaryg	Database	2016	Controlled	Regular	Total_Item_Requests	3
Multimedia	Gamma	1234_gam	PPα	ahgoiuaryg	Database	2016	Controlled	Regular	Unique_Item_Requests	3
Multimedia	Gamma	1234_gam	PPα	ahgoiuaryg	Database	2016	Controlled	Regular	Unique_Title_Requests	1
Multimedia	Gamma	1234_gam	PPα	ahgoiuaryg	Database	2016	Controlled	Regular	Searches_Regular	1

7. タイトルマスターレポート

Title Master Report (TR) には書籍またはジャーナルのタイトル全体について、すべてのメトリックに関わる操作が示されます。必要に応じて、TRにフィルターを適用することができます。TRには7つの標準ビューがあります。TRの場合、ホストの種類により適用される標準ビューが異なります。例えば、eJournalタイプのホストでは、TR_B1を提供する必要はありません。TRには、すべてのマスターレポートに適用される5つのフィルターに加えて、もう1つフィルターがあります。それがSection_Typeです。

ID	レポート名	内容	ホストタイプ
TR_B1	Book Requests (excluding OA_Gold)	ゴールドOA以外のすべてのコンテンツの全文取得操作を示す、TRの既定の書籍標準ビュー。 Unique_Item_Requestsの数は、コンテンツを書籍全体として提供するか、または章ごとに提供するかに基づき、サイトごとに異なります。一方で、Unique_Title_Requestsは提供の仕組みにかかわらず同じ数になります。	Aggregated Full Content eBook
TR_B2	Book Access Denied	TRの既定の標準ビュー。同時アクセス数の上限を超過したか、データベースのライセンスがないことにより利用者のアクセスが拒否された場合を示します。	eBook
TR_B3	Book Usage by Access Type	該当するすべてのメトリックをAccess_Type別に示すTRの既定の書籍標準ビュー。	Aggregated Full Content eBook
TR_J1	Journal Requests (Excluding OA_Gold)	ゴールドOA以外のすべてのコンテンツの全文取得操作を示す、TRの既定のジャーナル標準ビュー。	Aggregated Full Content eJournal
TR_J2	Journal Access Denied	TRの既定のジャーナル標準ビュー。機関がライセンスを持っていないか、同時アクセス数の上限を超過したことによりユーザーのアクセスが拒否された場合を示します。	eJournal
TR_J3	Journal Usage by Access Type	該当するすべての指標をAccess_Type別に示すTRの既定のジャーナル標準ビュー。	Aggregated Full Content eJournal
TR_J4	Journal Requests by YOP (Excluding OA_Gold)	ゴールドOA以外のコンテンツのフルテキスト利用を出版年別に示す、TRの既定のジャーナル標準ビュー。	Aggregated Full Content eJournal

これらの標準ビューの多くで、ゴールドOAのコンテンツ（Access_TypeがOA_Goldになっているもの）が除外されていることにお気づきかもしれません。OA_Gold論文のInvestigationとRequestは、タイトルマスターレポートに表示されます。これは、一部の論文をOAにしたハイブリッドジャーナルの利用において、OA_Gold論文と購読を必要とする論文の比率を把握するのに有用です。Access_Typeのもう1つの変数がControlledです。これには、購読を必要とするコンテンツ、無料で読める論文、出版後に一定の期間を経てに無料となった論文が含まれます。

シナリオ

Barbaraさんは、X誌の利用状況にアクセスしたいと思っています。利用件数の合計と、そのうち何件がOA_Gold論文に該当するかを知りたいと考えています。そのため、Barbaraさんはタイトルマスターレポート（TR）をダウンロードします。それには、以下が示されています。

- Access_Type: Controlled / Unique_Item_Requests: 49
- Access_Type: OA_Gold / Unique_Item_Requests: 18

BarbaraさんはTRをYOP（出版年）の項目でフィルターし、カレント購読の対象年を除去し、恒久的にアクセスできるバックナンバーの論文へのアクセスだけを表示します。TRには、以下が表示されます。

- Access_Type: Controlled / Unique_Item_Requests: 18
- Access_Type: OA_Gold / Unique_Item_Requests: 3

7.1 TRとはどのようなレポート？

TRには非常に詳細な情報が含まれるため、長いレポートになります。TRには、PRに表示される主な情報（プラットフォーム、Data_Type、Access_Method、Metric_TypeとReporting_Period_Total）だけでなく、タイトル名とID、出版社の詳細、Access_Type、Section_Type、出版年（YOP）など全17項目に、月別の明細が加わります。

ここでも、すべての種類の指標を表示する必要がありますが、このガイドではその一部のみを以下の例で紹介します。

例：出版社プラットフォームAlpha（PPα）のJournal Sixについて、2017年1月1日～6月30日のSample大学のTRを取得しました。この例では、Sample大学のユーザーは8件の論文にInvestigationを行い、そのうちの3件のフルテキストをRequestしています。

<http://bit.ly/2mVpm3M>

Title	Publisher	Publisher_ID	Platform	DOI	Proprietary_ID	ISBN	Print_ISSN	Online_ISSN	URI	Data_Type	Section_Type	YOP	Access_Type	Access_Method	Metric_Type	Reporting_Period_Total
Journal Six	Gamma	1234_gam	PPα	10.1000/xyz123	xyz123			1110987654321		Journal	Article	2016	Controlled	Regular	Total_Item_Investigations	8
Journal Six	Gamma	1234_gam	PPα	10.1000/xyz123	xyz123			1110987654321		Journal	Article	2016	Controlled	Regular	Unique_Item_Investigations	8
Journal Six	Gamma	1234_gam	PPα	10.1000/xyz123	xyz123			1110987654321		Journal	Article	2016	Controlled	Regular	Unique_Title_Investigations	1
Journal Six	Gamma	1234_gam	PPα	10.1000/xyz123	xyz123			1110987654321		Journal	Article	2016	Controlled	Regular	Total_Item_Requests	3
Journal Six	Gamma	1234_gam	PPα	10.1000/xyz123	xyz123			1110987654321		Journal	Article	2016	Controlled	Regular	Unique_Item_Requests	3
Journal Six	Gamma	1234_gam	PPα	10.1000/xyz123	xyz123			1110987654321		Journal	Article	2016	Controlled	Regular	Unique_Title_Requests	1

8. アイテムマスターレポート

Item Master Report (IR) は論文または動画など個々のコンテンツアイテムについて、すべてのメトリックに関わる操作を示します。必要に応じて、IRにフィルターを適用することができます。IRには2つの標準ビューがあります。IRには、すべてのマスターレポートに適用される5つのフィルターに加え、もう1つフィルターがあり、それがSection_Typeです。

ID	レポート	内容
IR_A1	Journal Article Requests	ジャーナル論文のアイテムリクエストの総数を示す、IRの既定の標準ビュー。
IR_M1	Multimedia Item Requests	マルチメディアのアイテムリクエストの総数を示す、IRの既定の標準ビュー。

8.1 IRとはどんなレポート？

IRには数多くの情報が記載され、ここではレポートを例示できません。

<http://bit.ly/2n0w34m> で例をご覧ください。IRに関連する表の列見出しはアイテム自体、その親、その構成部分についてのものです。各項目は、次の順序でIRに表示されます。

- Item
- Publisher
- Publisher_ID
- Platform
- Authors
- Publication_Date
- Article_Version
- DOI
- Proprietary_ID
- ISBN
- Print_ISSN
- Online_ISSN
- URI
- Parent_Title
- Parent_Authors
- Parent_Publication_Date
- Parent_Article_Version
- Parent_Data_Type
- Parent_DOI
- Parent_Proprietary_ID
- Parent_ISBN
- Parent_Print_ISSN
- Parent_Online_ISSN
- Parent_URI
- Component_Title
- Component_Authors
- Component_Publication_Date
- Component_Data_Type
- Component_DOI
- Component_Proprietary_ID
- Component_ISBN
- Component_Print_ISSN
- Component_Online_ISSN
- Component_URI
- Data_Type
- Section_Type
- YOP
- Access_Type
- Access_Method
- Metric_Type
- Reporting_Period_Total
- Mmm-yyyy

9. 第5版と第4版の比較

この項では、第5版と第4版の主要なレポートの対応関係を示します。

第5版	対応する第4版のレポート
PR_P1: Platform Usage	Book Report 4: 月・プラットフォーム・カテゴリ別のコンテンツアイテムへのアクセス拒否 Platform Report 1: 月・プラットフォーム別の検索総数、結果クリック数、レコード閲覧数
DR_D1: Database Search and Item Usage	Database Report 1: 月・データベース別の検索総数、結果クリック数、レコード閲覧数 Journal Report 4: 月・コレクション別の検索実行総数 Multimedia Report 1: 月・コレクション別のマルチメディアフルコンテンツユニットリクエスト成功数
DR_D2: Database Access Denied	Database Report 2: 月・データベース・カテゴリ別のアクセス拒否
TR: Title Master Report	Book Report 2: 月・タイトル別のセクションリクエスト成功数 Journal Report 3: 月・ジャーナル・ページタイプ別のアイテムリクエスト成功数 Journal Report 5: 出版年・ジャーナル別の論文フルテキストリクエスト成功数 Title Report 1: 月・タイトル別のジャーナル論文フルテキストと書籍セクションリクエスト成功数 Title Report 2: 月・タイトル・カテゴリ別のフルテキストアイテムへのアクセス拒否 Title Report 3: 月・タイトル・ページタイプごとのアイテムリクエスト成功数
TR_B1: Book Requests (Excluding OA_Gold)	Book Report 1: 月・タイトル別のタイトルリクエスト成功数 Book Report 2: 月・タイトル別のセクションリクエスト成功数 Book Report 7: 月・タイトル別の1セッション中ユニークタイトルリクエスト成功数
TR_B2: Book Access Denied	Book Report 3: 月・タイトル・カテゴリ別のコンテンツアイテムへのアクセス拒否

TR_J1: Journal Requests (Excluding OA_Gold)	Journal Report 1: 月・ジャーナル別の論文フルテキストリクエストの成功数 Journal Report 1 GOA: 月・ジャーナル別のゴールドOA論文フルテキストリクエストの成功数 Journal Report 1a: 月・ジャーナル別のアーカイブからの論文フルテキストリクエストの成功数
TR_J2: Journal Accessed Denied	Journal Report 2: 月・ジャーナル・カテゴリー別の論文フルテキストへのアクセス拒否
IR_M1: Multimedia Item Requests	Multimedia Report 2: 月・コレクション・アイテムタイプ別のマルチメディアフルコンテンツユニットリクエスト成功数

書籍の利用状況を評価するために第4版のBR1とBR2を使い慣れていれば、これからはTR_B1レポートを用いて比較可能な利用統計を得ることができます。TR_B1のUnique_Title_Requestsメトリックは、プラットフォームが書籍全体を提供するか、それとも章単位で提供するかにかかわらず、各書籍の利用状況を示します。

9.1 廃止されたレポート

第4版の3種のモバイルレポート（Journal Report 3 Mobile, Title Report 1 Mobile, Title Report 3 Mobile）は廃止されました。画面サイズに反応して表示を変えるレスポンシブデザインの普及により、モバイル専用画面を提供するプラットフォームが減ったのが理由です。

第5版では、サイズが大きすぎて作成・利用が困難だったコンソーシアムレポートも廃止されました。コンソーシアムはSUSHIで各会員館のレポートを個別に取得して下さい。長期的には、COUNTERはこのプロセスを簡素化するツールの開発を進め、コンソーシアムの利用統計をワンステップで取得できるようにします。

第5版のマスターレポートと標準ビューから削除されたもう1つの要素がゼロ利用のレポートです。技術的な理由により、レポートにゼロ利用を表示できるタイトルと期間を特定できない出版社やベンダーが存在します。出版社やベンダーが自社のシステムからこの情報を提供できる場合は、ゼロ利用の報告が盛り込まれたカスタムレポートを提供することを選択できます。COUNTERは、第5版のレポートでゼロ利用のタイトルを表示するためにKBartファイルを設定する方法を示したデモツールをExcelで作成しました。このツールはこちらでご参照下さい。 <http://bit.ly/2F37QBR>

10.まとめ

この項では、これまでに説明した情報とシナリオを用いて、COUNTER第5版の一連のレポートについてまとめます。

10.1 プラットフォームについて

出版社プラットフォームAlpha (PPα) には、フルテキストを提供するジャーナル100誌と書籍750点、マルチメディアデータベースなど、さまざまな資料がホストされています。従って、PPαは次のホストタイプに該当します。Aggregated Full Content、eBook、eJournal、Multimedia Collection

ホストタイプにより、PPαは4つのすべてのマスターレポートとすべての標準ビューを提供する必要があることが分かります。

10.2 購読機関について

Omega機関は、PPαのすべてのジャーナルとマルチメディアデータベースを購読しています。しかし、書籍は購読していません。

10.3 シナリオ：Susanさんの例

SusanさんはPPαで抗生物質の歴史について調べています。そして、プラットフォーム全体（つまり、マルチメディアデータベース以外も含めて）の検索を実行します。

検索結果一覧から、Susanさんは次のアイテムにアクセスします。

- Journal of Antibiotics are Fun の抄録2点
- Journal of Medical Historical Trivia の抄録1点
- マルチメディアデータベースの動画1本
- The Big Book of Medical Marvels 中の1章の抄録
- A Medical History Reference の書籍全体の抄録

この操作により、一連のInvestigationのメトリックがカウントされし、いくつかのアクセス拒否も発生します。このプラットフォームでは、検索結果から書籍のタイトルまたは章をクリックすると、アクセス権があれば本文が表示され、なければ代わりに抄録が表示されます。Susanさんの機関は書籍コンテンツへのライセンスを持っていないため抄録が表示されましたが、この場合、2件のアクセス拒否がカウントされます。

抄録を読んだあと、Susanさんは以下の操作を実行します。それによって、アクセス拒否やRequestメトリックが生じます。

- Journal of Antibiotics are Fun中の論文2点のフルテキストをダウンロード
- マルチメディアデータベースの動画1本を視聴
- The Big Book of Medical Marvels 中の1章のダウンロードを試みる

Susanさんが書籍の1章をダウンロードしようと試みることで、Investigationはカウントされますが、Requestはカウントされない点に留意して下さい。これは、Susanさんの機関は書籍のライセンスを持っていないので、アクセスが拒否されたためです。

10.4 要約

以上のように、PPaでのSusanさんのセッション中の活動から一連のメトリックがカウントされ、それらは4つのマスターレポートまたは6つの標準ビューにより、Omega機関の図書館員に提供されます。

活動が記録されるレポート

- PR and PR_P1
- DR and DR_D1
- TR, TR_J3, and TR_B2
- IR, IR_A1, and IR_M1

1

Search activity counts

- 1 Searches_Automated
- 1 Searches_Platform

2

View activity counts

- 6 Total_Item_Investigations
- 6 Unique_Item_Investigations
- 2 Unique_Title_Investigations
- 2 No_License

3

Download and watch activity counts

- 4 Total_Item_Investigations
- 1 No_License
- 3 Total_Item_Requests
- 3 Unique_Item_Requests

著者について

Tasha Mellins-Cohen氏はCOUNTER執行委員会とUKSG教育小委員会の委員であり、学術出版界に積極的に貢献しています。テクノロジー管理とビジネス分析を通じて、出版業務、プロジェクト管理から政策策定まで、業界について幅広い専門的知識を持っています。著者のLinkedInページは <https://www.linkedin.com/in/tashamc/> でアクセスできます。



このガイドは Royal Society of Chemistry（英国王立化学会）をスポンサーとして作成されました。

日本語版は2021年3月、WileyがCOUNTERの許諾を得て翻訳しました。

Copyright © 2019 COUNTER

This guide is published by COUNTER in 2018

25 Egbert Road, Winchester, SO25 7EB

lorraine.estelle@counterusage.org

Book design by eBook DesignWorks